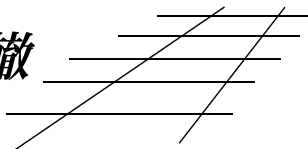

わ だ ち

No. 6 8

平成10年11月

轍



鉄道友の会
福井支部報

京福電鉄三国芦原線開業70周年 記念スペシャルイベント開催！



▲ (97年9月27日 京福三国港駅 テキ6+ト68)

写真：西口 佳志

京福電鉄福井鉄道部では、昨年引きつづき、スペシャルイベント第2弾を、平成10年9月26日、27日の2日間開催し、現存最古の電気機関車テキ6の復活走行など多彩な列車運行を行い、両日とも大勢の鉄道ファンでにぎわった。

福井鉄道南越線廃線跡巡り

岸本 雅行

福井支部主催の福井鉄道南越線廃線跡巡りが、9月20日（日）に行われました。南越線は、武生と越前和紙で有名な岡本（今立町）を結ぶ軌間762mmの武岡軽便鉄道として、大正3（1914）年に開通しました。その後、戸ノ口（鯖江市）までの全通時に1067mmに改軌、昭和16（1941）年、福武電鉄（現福井鉄道）と合併しました。武生市と今立町、さらに鯖江市の東部を結ぶ重要な交通機関として地域の発展に貢献してきましたが、モータリゼーションの波には勝てず、まず昭和46（1971）年に粟田部～戸ノ口間が廃止、昭和56（1981）年に全線廃止へと追い込まれてしまいました。

当日は、真夏と変わらないような暑さの中、JR武生駅東口（起点の社武生駅跡）に集合し（参加者9名）、3台のクルマに分乗して出発しました。新旧の地形図を比較して、当時の写真を見ながら線路跡を辿りました。北府駅跡では、北陸線の陸橋上の歩道と駅のホームを結んでいたスロープがそのまま残り、現在も使われているようでした。また、日野川鉄橋は、橋脚も当時のままで、立派なサイクリングロードに生まれ変わっています。しかし、

文室川にかかる鉄橋は、錆びたまま草むらの中に放置されており、何か侘びしい感じがありました。17年前に廃止された武生～粟田部間は、線路跡の道路などがかなり明確で、ほぼ正確に辿ることができましたが、その10年前に廃止された粟田部～戸ノ口間は何の形跡も残っていない部分が多く、10年間の歳月の差を感じました。

また、村国駅跡に保存されている160型と隣接する鉄道資料館を見学、所有者の北橋氏に当時の南越線の話などをさせていただきました。ここにある160形は、福井地震の生き証人として福井市下馬中央公園に保存されている160形の相棒の車両です。ちょうど1年前、福井支部の申し入れによりお別れ運転会が行われた車両であり、座席に座り感慨深く当日の賑わいを思い出しました。

クルマに乗った駆け足の廃線跡巡りでしたが、たいへん楽しく有意義な一日でした。もう少し資料などが揃ったら、一般の人にも呼びかけて、もっと大々的に廃線跡巡りができればと思っています。

昭和37年当時の地形図（5万分の1 鯖江）

